

令和5年3月

令和4年度事業報告書

一般社団法人 日本戦没者遺骨収集推進協会

令和4年度は世界規模の新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中、日本国内及び派遣対象国の感染状況の推移、派遣対象国における入国制限・行動制限の緩和状況、並びに日本帰国時の行動制限等を総合的に判断し、日本戦没者遺骨収集推進協会（以下「本協会」という。）が計画した国内及び海外での遺骨収集事業について、新型コロナウイルスの感染予防対策等を講じながら、派遣が可能と判断された地域から事業を再開した。

また、新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中、職員の感染予防に万全を期すため、職場内における基本的な感染予防対策の徹底や在宅勤務日の指定、並びに勤務時間を変更するなど、コロナ禍に応じた勤務体制を敷いた。

さらに、かかる環境下へ対応するため、必要に応じて会議、説明会等をリモートで行うなど、職員間の感染対策情報の共有及び認識の統一を図った。

事業の概要は以下のとおりである。

1. 戦没者の遺骨収集のために必要な情報の収集

(1) 国立公文書館等における資料調査

令和4年度事業計画書において、海外資料調査事業2回の実施を予定しており、米国内カリフォルニア州にある米国海軍設営隊資料館での資料調査を2回実施し、本協会職員各1名を派遣した。

資料調査は厚生労働省から提示された調査対象資料に基づき、米国の歴史研究家のダニエル・キング氏を雇用して実施した。

資料調査の結果、第1次派遣では約3,300ファイル、第2次派遣では約1,200ファイルの調査をそれぞれ完了したが、日本人戦没者に関する有力な埋葬情報は得られなかった。

① 事業計画書に対する実施状況

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
米国(海外資料調査)	2	2	0
合計	2	2	0

② 各地域における実施状況

派遣地域・派遣名	派遣日程	日数	派遣人員(名)			備考
			社員	職員	合計	
海外資料調査派遣(米国・第1次)	10/23 ~ 11/6	15	0	1	1	
海外資料調査派遣(米国・第2次)	1/15 ~ 1/29	15	0	1	1	
合計			0	2	2	

(2) 海外における戦没者の遺骨収集事業の実施について

前年度においては本邦からの派遣者による現地調査派遣等は第4四半期にマリアナ諸島及びパラオ諸島への派遣の3回のみであったが、令和4年度においては、厚生労働省と派遣対象国政府間とのオンライン会議の結果や出入国時の行動制限の緩和状況、並びに派遣地域の新型コロナウイルスの感染リスク等を個別に判断した上で、マリアナ諸島を皮切りにその他の地域についても徐々に派遣を再開して行った。

派遣の実施に際しては、派遣対象国における新型コロナウイルスへの医療対応状況の把握に努め、派遣期間中の感染予防対策について派遣団内で共有した。

また、PCR検査による日本出国前の派遣者の陰性確認や新型コロナウイルスワクチン接種証明書の提示など、派遣対象国が定める出入国にかかる諸条件を遵守しながら、安全安心な派遣の実施に努めた。

派遣期間中の団員に感染者が生じた際には、活動を休止して現地医療機関で受診させる他、状況に応じて派遣団の早期帰国を実施し、隔離期間を経て回復した団員を帰還させる等の処置を取った。

なお、硫黄島や海外派遣においては、コロナ禍の収束後を見据えて本協会の新人職員や経験の浅い職員を積極的に派遣し、派遣経験を積むための実地研修を行った。

(3) 国内情報等

令和4年度は有力な情報提供はなかった。

2. 遺骨情報の現地調査事業

(1) 実施報告

令和4年度事業計画書において、海外現地調査事業59回の実施を予定していた。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、24回を実施し、37回を中止した。

なお、バングラデシュは初めての実施地域であるため、本事業の取り組み等の説明と試掘等の許可を取得することから、相手国政府等との協議を兼ねて現地調査を2回実施した。

(2) 事業計画書に基づく現地調査等の実施状況

① 事業計画書に対する実施状況

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
ミャンマー	4	0	4
マリアナ諸島	8	8	0
パラオ諸島	4	4	0
トラック諸島	1	1	0
マーシャル諸島	1	0	1
東部ニューギニア	7	3	4
ビスマーク・ソロモン諸島	6	3	3
バヌアツ	1	1	0
オーストラリア	1	0	1
インド	2	1	1
北ボルネオ	1	0	1
モンゴル	1	0	1
フィリピン	14	0	14
バングラデシュ	0	2	0
インドネシア	4	1	3
樺太・千島	1	0	1
その他中部太平洋(ミクロネシア、ギルバ ート諸島)	3	0	3
合計	59	24	37

※バングラデシュは追加実施されたため、事業計画回数の合計と一致しない。

② 各地域における実施状況

派遣地域・派遣名	派遣日程	日数	派遣人員(名)			備考
			社員	職員	合計	
マリアナ諸島現地調査派遣(第1次)	4/27 ~ 5/11	15	5	3	8	
マリアナ諸島現地調査派遣(第2次)	7/7 ~ 7/17	11	2	2	4	
マリアナ諸島現地調査派遣(第3次)	8/17 ~ 9/2	17	6	3	9	
マリアナ諸島現地調査派遣(第4次)	9/14 ~ 9/29	16	5	2	7	
マリアナ諸島現地調査派遣(第5次)	11/20 ~ 12/4	15	0	1	1	
マリアナ諸島現地調査派遣(第6次)	2/1 ~ 2/8	8	1	2	3	

マリア諸島現地調査派遣(第7次)	1/29 ~ 2/10	13	2	3	5	
マリア諸島現地調査派遣(第8次)	2/22 ~ 3/9	16	8	3	11	
パオ諸島現地調査派遣(第1次)	5/17 ~ 5/29	13	10	5	15	
パオ諸島現地調査派遣(第2次)	7/20 ~ 8/1	13	9	4	13	
パオ諸島現地調査派遣(第3次)	9/15 ~ 9/28	14	10	5	15	
パオ諸島現地調査派遣(第4次)	2/20 ~ 3/6	15	11	4	15	
トラック諸島(沈没艦船)現地調査派遣	3/7 ~ 3/18	12	2	2	4	
東部ニューギニア現地調査派遣(第1次)	7/10 ~ 7/16	7	0	2	2	
東部ニューギニア現地調査派遣(第2次)	10/22 ~ 10/29	8	2	2	4	
東部ニューギニア現地調査派遣(第4次)	3/6 ~ 3/15	10	3	2	5	
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣(第1次)	12/11 ~ 12/18	8	2	2	4	
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣(第2次)	1/15 ~ 1/25	11	3	3	6	
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣(第3次)	3/12 ~ 3/23	12	5	6	11	
バヌア現地調査派遣	12/4 ~ 12/11	8	1	2	3	
インド現地調査派遣(第2次)	11/13 ~ 11/28	16	3	4	7	
インドネシア現地調査派遣(第1次)	3/6 ~ 3/18	13	0	2	2	
バングラデシュ現地調査派遣(第1次)	2/3 ~ 2/11	9	0	3	3	
バングラデシュ現地調査派遣(第2次)	3/18 ~ 3/25	8	2	3	5	
合計			92	70	162	

3. 戦没者の遺骨の収容や本邦への帰還事業

(1) 実施報告

令和4年度、国内における戦没者遺骨収集派遣は硫黄島で実施した。硫黄島では防衛省が示す渡島前2週間の健康管理に万全を期すとともに、健康状態チェックリスト等に基づき派遣者の健康状態を把握し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施した。事業計画書においては、遺骨収集派遣4回と、フォローアップ調査16回の合計20回を実施する予定で、このうち遺骨収集を4回、フォローアップ調査14回の合計18回を実施した。

海外については、事業計画書において24回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の予防策を講じながら、5回を実施した。

(2) 事業計画書に基づく遺骨収集の実施状況

① 事業計画書に対する実施状況

(国内)

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
硫黄島(遺骨収集)	4	4	0
硫黄島(フォローアップ調査)	16	14	2
合計	20	18	2

(海外)

地域	事業計画書 回数	実施 回数	中止 回数
ミャンマー	1	0	1
マリアナ諸島	1	0	1
パラオ諸島	1	1	0
トラック諸島	1	0	1
ギルバート諸島	1	0	1
マーシャル諸島	1	0	1
東部ニューギニア	1	1	0
ビスマーク・ソロモン諸島	2	0	2
バヌアツ	1	0	1
インド	1	2	0
旧ソ連(遺骨収集)	5	0	5
旧ソ連(埋葬地調査)	0	1	0
モンゴル	1	0	1
樺太・千島	2	0	2
フィリピン	2	0	2
インドネシア	2	0	2
バングラデシュ	1	0	1
合計	24	5	21

※インド及び旧ソ連(埋葬地調査)は追加実施されたため、事業計画回数の合計と一致しない。

② 各地域における実施状況
(国内)

派遣地域・派遣名	派遣日程	日数	派遣人員(名)			収容柱数	送還柱数	備考
			社員	職員	合計			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第1次)	7/19 ~ 7/29	11	17	6	23	0	0	途中 中止
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第2次)	9/26 ~ 10/13	18	17	5	22	21	21	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第3次)	11/19 ~ 12/6	18	16	5	21	29	29	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第4次)	1/30 ~ 2/16	18	15	4	19	25	25	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第1次)	6/9 ~ 6/21	13	3	2	5	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第2次)	6/20 ~ 7/5	16	2	2	4	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第3次)	7/4 ~ 7/20	17	3	3	6	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第4次)	7/19 ~ 8/2	15	2	2	4	/	/	途中 中止
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第5次)	8/4 ~ 8/23	20	1	5	6	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第8次)	9/25 ~ 10/11	17	2	2	4	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第9次)	10/9 ~ 10/21	13	2	2	4	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第10次)	10/19 ~ 11/4	17	3	2	5	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第11次)	11/2 ~ 11/18	17	1	2	3	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第12次)	11/16 ~ 11/30	15	3	2	5	/	/	
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第13次)	11/28 ~ 12/14	17	2	2	4	/	/	

硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第14次)	1/15 ~ 2/1	18	3	2	5			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第15次)	1/30 ~ 2/14	16	2	2	4			
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 フォローアップ調査(第16次)	2/12 ~ 2/28	17	2	2	4			
合計			96	52	148	75	75	

※硫黄島戦没者遺骨収集派遣フォローアップ調査(第6次)及び(第7次)は中止

(海外)

派遣地域・派遣名	派遣日程	日数	派遣人員(名)			収容 柱数	送還 検体	送還 柱数	備考
			社員	職員	合計				
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査・ 小規模慰霊碑建立協議派遣 (カザフスタン共和国)	8/23 ~ 9/9	18	0	1	1	0	1	0	
パラ諸島戦没者遺骨収集派遣	11/28 ~ 12/13	16	9	5	14	10	93	0	
東部ユーギニア現地調査・遺骨収集 派遣(第3次)	1/20 ~ 2/1	13	2	2	4	0	23	0	※
インド現地調査・遺骨収集派遣 (第1次)	9/4 ~ 9/20	17	3	4	7	5	5	0	※
インド現地調査・遺骨収集派遣 (第3次)	2/18 ~ 3/6	17	3	4	7	0	0	0	※
合計			17	16	33	15	122	0	

※「現地調査・遺骨収集派遣」については、現地調査をあわせて実施している。

4. 研修の実施状況

派遣参加者の実践的能力・技術向上のため、令和4年度は新型コロナウイルスの感染を予防しつつ、以下のとおり職員及び社員団体会員を対象に研修を行った。

また、職員の研修参加は、感染予防による人数制限もあり、原則、各講座の受講が初めての者を対象にした。

各研修は、講座の性質に応じて成果を確認した。外傷対応や骨学などは講師による実技確認や試験が行われ、旅費や仮払金、労務管理などは実務で習得度合を確認し、必要に応じて報告書等の作成を課した。

開催月	研修テーマ	参加人員(名)			月別集計	
		社員	職員	合計	参加人員	講座回数
4	第1回外傷対応研修	7	5	12	52	4
	第2回外傷対応研修	5	7	12		
	第14回骨学研修(厚労主催)①	7	1	8		
	第1回野外訓練(ソロモン会共催)	14	6	20		
5	第14回骨学研修(厚労主催)②	7	1	8	65	6
	第14回骨学研修(厚労主催)③	7	1	8		
	旅費規程/仮払金に関する研修	0	8	8		
	ビル遺族らによる勉強会	0	5	5		
	第2回DNA鑑定研修(厚労主催)	20	3	23		
	第2回野外訓練(ソロモン会共催)	10	3	13		
6	第3回外傷対応研修	3	9	12	34	3
	第4回外傷対応研修	5	7	12		
	第1回健康管理マニュアル研修	0	10	10		
7	第2回健康管理マニュアル研修	0	10	10	19	2
	第3回健康管理マニュアル研修	0	9	9		
8	海外・国内派遣期間中の労務管理の記録方法の研修(第1回)	0	8	8	21	2
	安全対策研修(導入編)	0	13	13		
9	第5回外傷対応研修	8	4	12	26	1
	第3回野外訓練(ソロモン会共催)	14	0	14		
10	第4回健康管理マニュアル研修	9	2	11	11	1
11	海外・国内派遣期間中の労務管理の記録方法の研修(第2回)	0	7	7	14	2
	海外・国内派遣期間中の労務管理の記録方法の研修(第3回)	0	7	7		

12	第15回骨学研修(厚労主催)①	7	0	7	31	4
	第15回骨学研修(厚労主催)②	7	0	7		
	第15回骨学研修(厚労主催)③	7	0	7		
	第1回 安定同位体比分析等の講習及び見学等(厚労主催)	10	0	10		
3	第5回健康管理マニュアル研修	13	2	15	15	1
合計		122	128	250	250	26

5. 法人及び事務局の運営

(1) 旅行業者等の選定

令和4年度における旅行業者等の選定を公募により以下のとおり実施した。

派遣地域・派遣名	業者名
海外資料調査派遣(米国・第1次)	小田急電鉄株式会社
海外資料調査派遣(米国・第2次)	名鉄観光サービス株式会社
ビスマーク・ソロモン諸島現地調査派遣 (第1次～第3次)	名鉄観光サービス株式会社
パプアニューギニア現地調査派遣 (第1次、第2次)	東武トップツアーズ株式会社
東部ニューギニア現地調査派遣 (第1次、第2次、第4次)	名鉄観光サービス株式会社
東部ニューギニア現地調査・遺骨収集派遣 (第3次)	
パラオ諸島現地調査派遣 (第1次～第3次)	名鉄観光サービス株式会社
パラオ諸島戦没者遺骨収集派遣	株式会社アザヤジパソ
インド現地調査・遺骨収集派遣 (第1次、第3次)	東武トップツアーズ株式会社
インド現地調査派遣 (第2次)	

インド 初ア現地調査派遣 (第1次)	東武トップターズ株式会社
バヌア現地調査派遣	東武トップターズ株式会社
トラック諸島(沈没艦船)現地調査派遣	小田急電鉄株式会社
マリア諸島現地調査派遣 (第1次～第8次)	名鉄観光サービス株式会社

(2) 職員勤務体制について

新型コロナウイルスの収束が見えない中で海外派遣が再開されたことを踏まえ一層、職員の感染防止に十分留意し、その一環として在宅勤務を継続した。しかしながら、派遣直前、派遣中、派遣からの帰国後、及び事務所勤務中に感染した職員が現出し、都度、濃厚接触職員のPCR検査、一定期間の継続在宅勤務等により感染拡大防止に努めた。

(3) 正職員採用について

4月1日付、総務部において1名採用、また7月1日付、事業部において1名採用した。

(4) 理事会の開催

- ① 第27回定時理事会を6月8日に本協会ビル地下会議室で開催した。
理事11名、監事2名が出席し「令和3年度事業報告書案及び収支決算書案」が承認された。職員安全衛生管理規程については再審議となった。また報告事項「職員就業規則に関する細則、定年後の再雇用にかかる雇用条件」についても再審議となった。
- ② 第28回臨時理事会を6月21日の第11回定時社員総会終了後に本協会会議室にて開催した。
互選により会長に尾辻秀久氏、副会長代表理事に眞野章氏、副会長に水落敏栄氏、専務理事に竹之下和雄氏が選任された。
- ③ 第29回臨時理事会が8月23日、書面決議により行われた。会長に選任された尾辻秀久氏が就任保留、その後任期満了による退任となったのに伴い、水落敏栄副会長が会長に就任する旨、承認された。
- ④ 第30回臨時理事会が12月9日、本協会会議室において開催された。
理事8名、監事2名が出席し令和4年度事業実施状況報告がなされた。継続審議となっていた「職員安全衛生管理規程」、「職員就業規則に関する細則、定年後の再雇用にかかる雇用条件」については再度、継続審議となった。
- ⑤ 第31回定時理事会が3月22日、本協会会議室において開催された。

理事10名、監事2名が出席し「令和5年度事業計画（案）及び収支予算書（案）」が承認された。再審議となっていた「職員安全衛生管理規程」について承認され、「職員就業規則改正」については「介護休業」、「リフレッシュ休暇」については承認されたが「細則、定年後の再雇用にかかる雇用条件」については継続審議となった。また、「旅費規程改正」について承認された。

（5）社員総会の開催

第11回定時社員総会を6月21日に本協会会議室で開催した。10社員団体（3団体は委任状提出）と監事2名が出席し、「令和3年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）」が承認された。

本総会をもって理事12名が全員任期満了となり9名の重任、住田陸快氏、影山幸雄氏、植木美知男氏3理事の退任に伴い崎津寛光氏、市原直氏、藤井貞文氏が新たに理事就任となる旨、承認された。また、本総会をもって監事、瀬尾昌平氏が辞任するのに伴い、新監事として反町佳生氏が就任する旨、承認された。

（6）監事会の開催

盛川監事、瀬尾監事が出席して、5月25日に監事会を開催した。公認会計士からの監査報告を踏まえ、令和3年度事業報告書案及び収支決算書案を報告し、総勘定元帳、仕訳伝票、預金残高等の会計書類を確認いただいたうえで監事による監査報告書が作成された。その他、本協会の運営状況に対して助言及び指導があった。

（7）指定法人指導監査について

9月7日、8日、本協会会議室にて「令和3年度戦没者の遺骨収集に関する活動を行う指定法人指導監査」が行われた。

本年度監査においては文書による是正又は改善を要する事項は認められなかった。

なお、仮払金の精算について、口頭指摘、月次契約報告書について、助言があった。

（8）戦没者の遺骨収集に関する有識者会議の開催

7月20日、「令和4年度第1回戦没者の遺骨収集に関する有識者会議」がTKP新橋カンファレンスセンターホール15Dで開催され、次の議題が審議された。

- ① 戦没者の遺骨収集事業の取組状況について
- ② 戦没者遺骨鑑定の取組状況について
- ③ 令和4年度予算について

また、令和5年3月1日、「令和4年度第2回戦没者の遺骨収集に関する有識者会議」がTKP 新橋カンファレンスセンターホール15Dで開催され、次の議題が審議された。

- ① 指定法人への指導監査結果について
- ② 戦没者の遺骨収集事業の取組状況について
- ③ 戦没者の遺骨鑑定の取組状況について
- ④ 令和5年度予算案について